

社会教育ガイド

2月の中央公民館事業
〈会場は中央公民館〉

■くらしの書

期日 2月15日(火)
時間 午後1時30分
講師 小木光興氏

■婦人大学

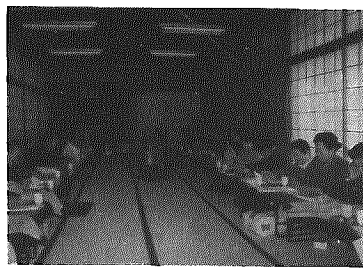
期日 2月16日(水)
時間 午後1時30分
内容 閉講式

■婦人教養セミナー

期日 2月19日(土)
時間 午前9時30分
講師 高橋ハナ氏

■高齢者大学

期日 2月23日(水)
時間 午前10時
内容 講演 午後 クラブ



初春を句に託す

中央公民館新春俳句大会

平成六年新春俳句大会が中央公民館主催で同館二階和室で開催され村内の俳句愛好者四十余人余が参加しました。

午前中は、「初春」「七種」「初雀」という席題句や一句競詠では、「雑煮」という課題にそれぞれ挑戦しました。

午後からは、参加者全員による互選を行い、盛り上がりつつありました。

なお、結果は次のとおり。

席題の部

(初春、七種、初雀)

第一位 笠原 茶山(木津)
第二位 佐藤 豊吉(沢海)
第三位 今井 天花(木津)

席題高点句の部

第一位 細山芳洲子(横越)
第二位 笠原 茶山(木津)
第三位 佐藤 豊吉(沢海)

一句競詠の部

(雑煮)

第一位 市村横雪子(横越)
第二位 谷井野武士(横越)
第三位 坪谷十九一(木津)

現代の代表的俳句作家
投句・トークIN 福島鴻

「上田五千石の詠む福島鴻」句会

昨年十月と今年一月にかけて、豊栄市で二十一世紀に残したい日本の自然百選地に選ばれた「福島鴻」を題材に新編日報の俳句の選者でも有名な上田五千石先生を選者に招いて俳句大会が開催されましたが、次のとおり村からの入選句と入選者を紹介します。

○雁を迎えて福島鴻俳句大会

特選 互選最高句

わが行けばまた組み直す鴨の陣 谷井野武士(横越)

○福島鴻をテーマに詠んだ俳句大会

秀逸

遠景に白鳥遊ぶ瀧日和 坪谷 雅博(木津)

鳴鳴くや福島鴻の暁冷ゆる 坪谷いわお(木津)

よしきりに朝が始まる瀧部 坪谷いわお(木津)

入選

枯芦を楯に野鳥の群写す 谷井野武士(横越)

鳴鳴くや福島鴻は今日も晴 坪谷耕雨(木津)

○一月九日入賞発表の句会

特選 互選最高句

瀧舟に羽毛一片冬ぬくし 谷井野武士(横越)

文芸欄

(公募作品高点句者)

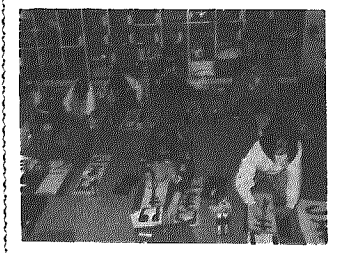
俳句

- 句題 北風・炬燵・大根
- 第一位 大根引く穴から穴へ陽の動く (木津) 今井 天花
- 第二位 病み上げて笑いのもどる炬燵かな (横越) 市村 横雪子
- 第三位 北風殿し米の自由化避け難し (木津) 坪谷 十九一
- 第四位 大根吊り村中重し屋の月 (木津) 今井 天花
- 第五位 夜の炬燵母の手にある小内職 (木津) 今井 夫子
- 第六位 北風や火種きらさぬ漁師小屋 (沢海) 佐藤 豊吉
- 第七位 酒が好き大根が好き医者知らず (木津) 坪谷 いわお
- 第八位 前山に雪来大根取り急ぐ (木津) 坪谷 いわお
- 第九位 厨の灯消して炬燵の座が埋まり (横越) 高橋 鴉子
- 第十位 引きぬきし大根穴を陽が覗く (横越) 神田 斗子

小学校で書初め大会

一月十二日(水)、横越小学校では、全校一斉に書初め大会が行われました。

「心をこめて、一生懸命書きましよう」という校内放送があり、三年四組でも菅原教諭の指導のもとで「門まつ」という課題に挑戦しました。この作品は、一週間、教室の廊下に展示されました。



読書感想文紹介シリーズ②
新潟県読書感想文コンクール入選
「砂漠に緑の園を」を読んで

横小五年二組 阿部 有香里さん

私が、どうしてこの本を読んだかというところ、それはこのごろ建物を建てるために、木がどんどん切りたおされ自然がどんどんはかいかれつつあるということに興味をもったからです。

この本は、自然を愛している人が緑をつくらうと話す話です。

だから、もっと自然や緑のことをもっと知りたくなくてこの本を読もうと思いましたが、

この本を読み終えて自然の大切さやすばらしさ、そして、自然に対する人間の気持ちや思いやりなどを学びました。

この本を読んで、とてもよかったです。

向後元彦さんは、砂漠を緑に変えるという仕事、それが一番自分にむいている仕事だと思い、実施し始めました。

仲間たちからのカンパで作業をすすめていきました。一回目は、うまくいかなかったので帰ってきた元彦さんに仲間が、またカンパしてくれて旅出つことになりました。

その仲間の友情と思いやりが私は、とてもすばらしいものだと思いました。

そして、元彦さんは、その友情に元気づけられただろうと思いました。

再度の挑戦もうまくいきませんでした。

やめてしまおうと思ったこともあったと思います。

でも、私は、いままでカンパしてくれた仲間の友情がとてもおもしろく、結局「なにもできなかった」じゃもういられないだけです。

元彦さんは、そんなにかんたんにあきらめるのかなと思いましたが、

私が予想した通り、やはりあきらめず、また挑戦しました。

でも、何回か失敗しました。

それでもあきらめずにいっしょうけんめいやりました。そして、とうとう成功しました。

やみに花をおったりしないようにしようと思えました。小さなことから自然を守っていきなさいと思います。自然を大切にすることは、地球を守ることにつながっていると思うからです。

横越村商工会
第18回珠算競技大会結果
平成5年12月23日実施

- 個人総合
- 第一位 酒井 亜矢子 (小学三年)
- 第一位 小野塚 雄一 (小学四年)
- 第一位 菊池 敦嗣 (小学五年)
- 第一位 渡邊 広野 (小学六年)
- 読上暗算
- 第一位 酒井 亜矢子 (小学三年)
- 第一位 仲村 紀子 (小学四年)
- 第一位 菊池 敦嗣 (小学五年)
- 第一位 羽賀 真理子 (小学六年)
- 第一位 石塚 真奈美 (小学六年)

借りて読んで下さい
中央公民館購入図書案内

- 恋愛論
- 音楽の海岸
- 愛という名のもとに
- 女帝
- 無印親子物語
- それでも女で苦勞がしたい
- 全国アホ、バカ分布考
- 細川内閣と政界再編 94
- 西山町物語
- なぜ田中眞紀子は吼えるのか
- 40歳からの般若心経
- 中島らものたまらん人々

子龍 司行 矢修 行夫 憲道も
瑤 伸一 上島 水 田本 岡 政哲 英泰ら
森村 野清 群 武松 福江 波戸 板松 中

方言	標準語	用途・その他
クマム	老ける	彼女もすっかりクマムだ
ゴトバナ	濃厚な鼻汁	ゴトバナさん
ゴータレ	困業	あの人はサベチヨコキだ
サベチヨ	おしゃべり	ザマが悪くなった
ザマ	姿	不潔な人はショータレコキ
ショータレ	不潔	ショーンがらんで顔を見せろ
ショーン	恥ずかしい	ズクナシだから一人で
ズクナシ	何事も一人前と言えない	やれない

横越方言けんぶんろく⑧
○人体・その他

(横越村の民俗より 著者 曾我廣見さん)